

# Octave クイックリファレンス

山本知幸

ver 0.1

## 1 起動

次のいずれかを実行する

- デスクトップの Octave アイコンをダブルクリックする
- 以下のディレクトリをエクスプローラで探し出し、octave-3.0.1.exe をダブルクリックする

C:\Program Files\Octave\bin\octave-3.0.1.exe

## 2 エディタの使い方

Octave はコマンドラインインターフェイスであるため、プログラムを入力して保存するようなことができない。そのため、Octave には、SciTE というエディタが付属している。SciTE の起動は

```
Octave:> edit
```

である。ただし、ディレクトリの初期設定に問題があるので、必ず以下の cd コマンドを実行すること Octave と SciTE のカレントディレクトリは全く一致も同期もしていないことに注意すること。

```
Octave:> cd
```

これで、Octave にてディレクトリが以下のようにセットされる。

```
C:\Documents and Settings\{user 名}
```

SciTE での保存ディレクトリをこのディレクトリにすると、Octave から source() 関数等でファイルを参照出来るようになる。

最初に SciTE を起動したときはこのディレクトリに保存することを忘れないように。自分でディレクトリを作成しても良いが、かならず Octave と SciTE でファイルを保存したディレクトリを一致させるように。

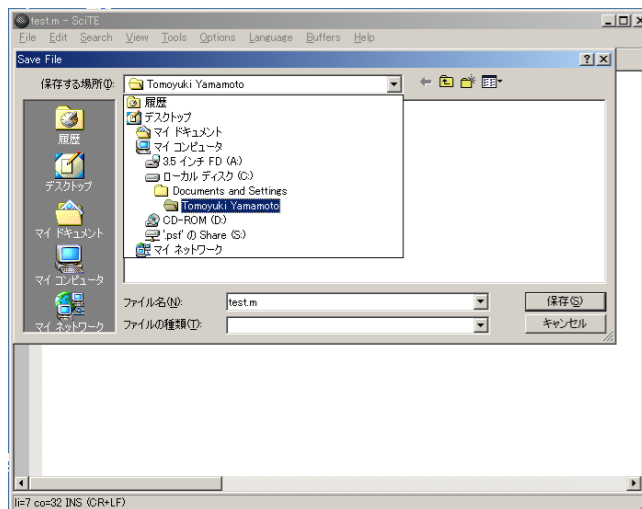


Figure 1: SciTE でのディレクトリの設定方法。Tomoyuki Yamamoto の代わりに自分のユーザー名のディレクトリを選択する。

### 3 コマンドウィンドウからのコピー

実行結果をレポートにする際には必要になる。

1. コマンドウィンドウの タイトルバーを右クリック
2. プルダウンメニュー「編集 (E)>」にマウス移動
3. プルダウンメニューのサブメニュー「範囲指定 (K)」をクリック (図 2)
4. コマンドウィンドウにて、マウスドラッグで範囲を指定 (反転して表示される) (図 3)
5. 「コピー (Y)」をクリックするか、enter キーを打つと、クリップボードにコピーされる (図 4)



Figure 2: タイトルバーを右クリックして、「編集 >」、「範囲指定」を選択

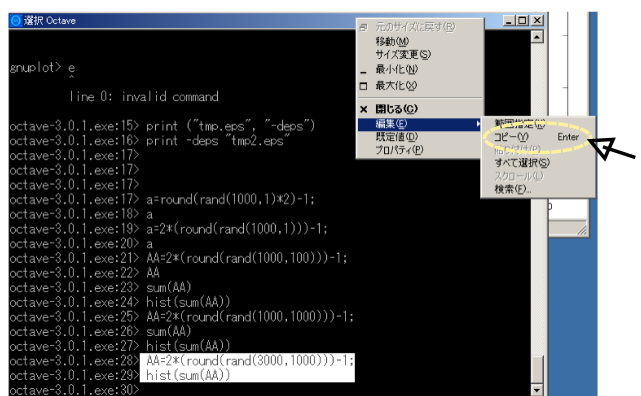
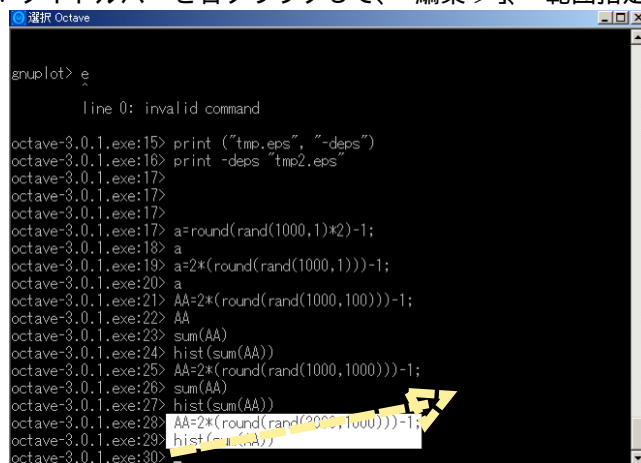


Figure 4: enter キーを打つが、再度タイトルバーを右クリックして、「編集 >」、「コピー」を選択。

## 4 コマンドウィンドウへのペースト

1. コマンドウィンドウの タイトルバー を右クリック
2. プルダウンメニュー「編集 (E)>」にマウス移動
3. プルダウンメニューのサブメニュー「貼り付け (P)」をクリック
4. カーソルの位置にクリップボードの文字列が挿入される

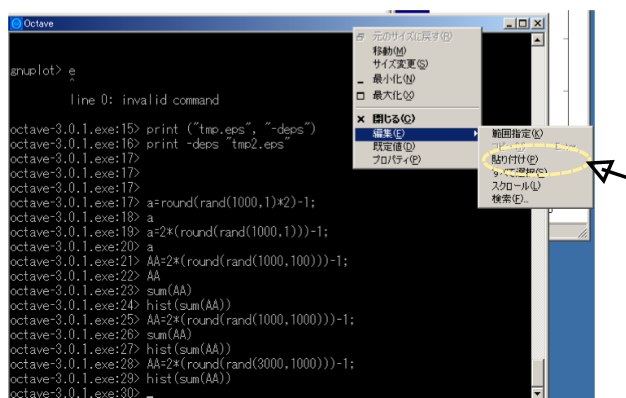


Figure 5: タイトルバーを右クリックして、「編集 >」、「貼り付け」を選択

## 5 グラフの出力

プロットしたグラフは eps, PNG 等の形式で出力が可能である。

```
Octave:> plot(A); #任意のグラフ描画を行う
```

```
Octave:> print -deps "file.eps" #EPS 形式。ファイル名は任意  
または
```

```
Octave:> print -dpng "file2.png" #PNG 形式。ファイル名は任意
```

## 6 インストール

Octave のライセンスは GPL であるため、自由にコピー・インストールしてよい。教室のマシンには既に Octave はインストールしてあるが、自分のマシンにインストールしたい場合、以下のサイトからダウンロード可能である。

<http://octave.sourceforge.net/>

ここから、ダウンロードのリンクをたどり、自分のマシンに適合するパッケージをダウンロードする。ダウンロードするミラーサーバーはJAISTを選ぶと良い。